

平成27年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

1 学校名	みやき町立中原中学校		
2 所在地	みやき町大字蓑原 1475 番地 9		
3 校長名	牟田 泰明		
4 学級数 児童生徒数	9 学級 234 人	5 実施学年 児童生徒数	1,2,3 年 234 人

6 取組のねらい

- (1) UDについて調べたことをレポートにまとめることで、UDについての理解を図り、生活の中で身近なUDについて考えさせる機会を与える。
- (2) 身近なUDについて調べ、UDの必要性やそれらを生かそうとする心情を育てる。
- (3) 佐賀県が推進するユニバーサルデザインについての知識・理解を深め、生活の中での身近なUDについて知る機会とする。

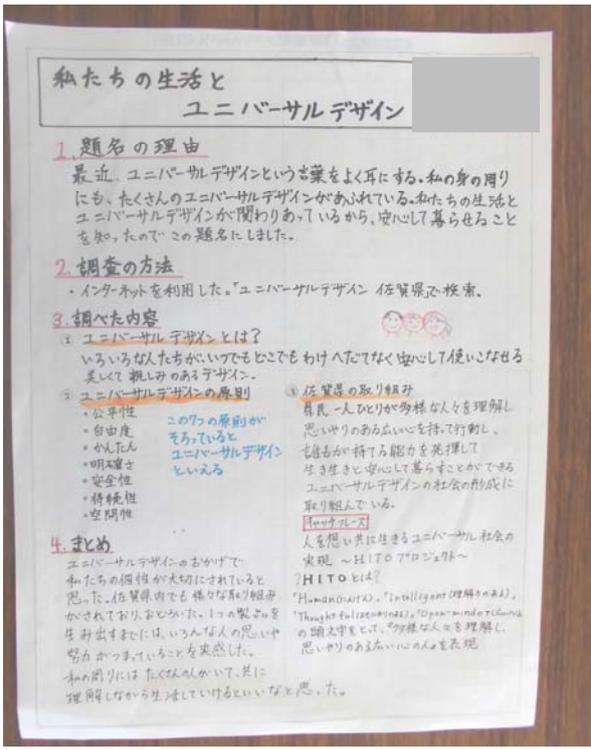
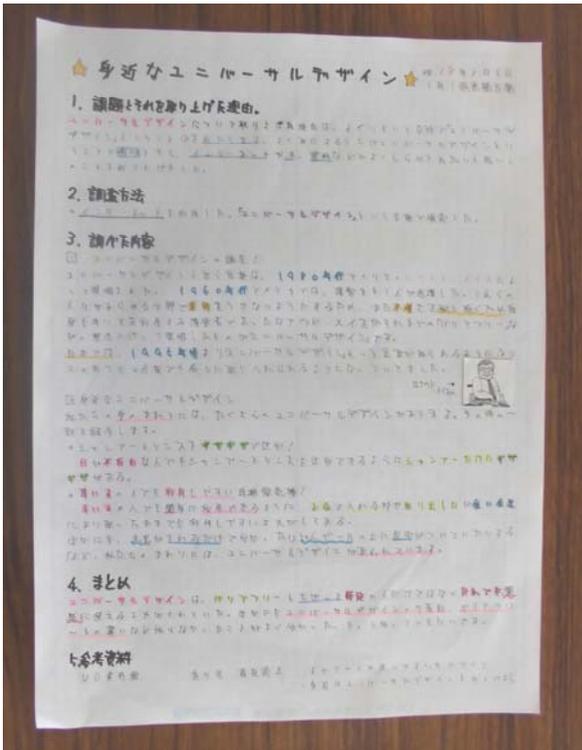
7 取組の実際

ユニバーサルデザインについて、総合的な学習における身近な UD の活用例（資料1）、修学旅行先での身の回りでの UD 発見（資料2）などについて学習させた。その際、以下のプロセスを基本的な学習過程として取り組ませた。

- ①UDについて調べる内容を決める。
- ②インターネット等を使って調べ学習で情報を集める。
- ③集めた情報を整理する。
- ④全体の構想を考える。
- ⑤レポートにまとめる。
- ⑥レポートにまとめたものを発表する。

UDについて調べ学習で、知識・理解を深めた。また、UDの7原則がどのように生かされているか、UDとして気付かなかったことについての理解を深めた。また、身近にあるUD施設や製品についても理解を深めた。





8 取組の成果と課題

(1) 成果

この取り組みで、「UD」とは障がい者にとどまらず、すべての人にとって安心・安全で利用しやすいように、建物、環境、製品等をつくっていくことについて生徒一人ひとりの理解を深めることができた。また、発表会で身近にあるUD多目的トイレ、UD対応自動販売機、UDを取り入れた文房具などについて、知ることができた。この取り組みを通して思いやりの心を育むことができたと思う。

(2) 課題

今後自分たちの住む環境をより住みやすくするための具体的な UD アイデアを発展的に考えさせる必要がある。また、1年時から3年時まで系統的な学習計画を充実させる必要がある。

暮らしの中のユニバーサルデザイン

1. 課題とそれを取り上げた理由

授業でユニバーサルデザインを習っていると、ユニバーサルデザインとは何なのか、ユニバーサルデザインとバリアフリーのちがいは何なのかなど、ユニバーサルデザインについて、いろいろな疑問や興味がわいてきたから。

2. 調査の方法

タブレットを使って、インターネットで調べた。

3. 調べた内容

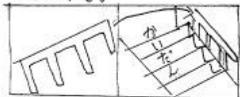
- ユニバーサルデザインの7原則
 1. びんな人でも公平に使えること (公平な利用)
 2. 使う人のびんな個性があること (利用におけるびんな個性)
 3. 使い方が簡単で自明であること (単純で直感的な利用)
 4. 必要な情報がすぐに分かること (認知できる情報)
 5. ぶろかりミスを許容できること (失敗に対する寛大さ)
 6. 身体への過度な負担を必要としないこと (少ない身体的な努力)
 7. アクセスマズ利用のための十分な大きさと空間がかくほされていること。

バリアフリーとの違い

バリアフリー……障害者、高齢者などの生活弱者のために、生活に障害となる物理的な障壁のさくじよを行なう。
ユニバーサルデザイン……個人差や国籍のちがいに配慮して、全ての人が対象にされている。

④! かいだんにスロープを付ける時-

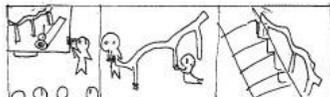
バリアフリーの場合
もともと作てあるスロープを
とりつける。



バリアフリーは、法律等できせり
することて復旧する

「行政指導型」

ユニバーサルデザインの場合
設計からスロープを計画し、
つくりあげること。



ユニバーサルデザインは、良いものをほめ
たたえ、すいしょうする

「民間主導型」

-参考資料-

ウィキパデア

身近なユニバーサルデザイン

1. 課題を取り上げた理由

→最近どの地域にも注目されているユニバーサルデザインについてもっと知りたいと思
たから。特に私は自動販売機と車について調べてみたいと思った。自動販売機と車は、
私たちの生活にとて身近なものであり聞かせない物となっているから。

2. 調査方法

○インターネットを利用した。キーワードとして、「ユニバーサルデザイン自動販売機」
や「今の車について」などを検索した。

3. 調べた内容

(ユニバーサルデザインの7原則について)

- 誰でも公平に利用できる。 ○使う上で柔軟性に富む。 ○簡単に直感的に利用できる。
- 必要な情報が簡単に判解できる。 ○単純なミスが危険につながらない。
- 身体的負担が少ない。 ○接近して使える寸法や空間になっている。

<自動販売機>



<今のユニバーサルデザインについて>

- ・広い受け皿のあるコイン投入口を広く。スムーズに操作できる「リモートタッチ」
- ・選択ボタンを選びやすいように。機能がついており、運転中に色々なところを
- ・取り出しレロ誰でも取りやすいように、高い見なくてすむので事故防止につながります。

場所を設置している。(普通車) <フレンドマッチング車>
→自動販売機には絶対ついてるこのお。足のへダル操作がてできない人のため、手では、
大体中間部分に設置している。アクセルブレーキ操作がついている。
・ユニバーサルデザインの自動販売機は楽々そのため、車イス利用者でも一人で運転する
姿勢でとれるように設計されている。ことかできる。

4. まとめ

・自分の生活にはユニバーサルデザインが必須だと思った。身近なところはたくさん便利
なものがあり、それが私たちの生活に深く関わっていることが分かった。

5. 参考資料

トヨタユニバーサルデザイン。ユニバーサルデザイン自動販売機
ガイドブック

福祉車両とUD

1年2組岩本 隼

<課題とそれを取り上げた理由>

テレビで福祉車両を使用している方の番組があった。ユニバーサルデザインが進み便利で道具に奪われていた。福祉車両もその道具の1つだ。福祉車両には私の家にも車にはない機能が沢山ある。五体満足で何なく暮らしている私には今まで何の関連もなかったものだが、福祉車両を使用している人をあんなに喜ばせるユニバーサル、福祉車両とはどういったものなのか調べてみたいと思った。

<調査の方法>

・インターネットを利用した。「ユニバーサルデザインの原則」「福祉車両の必要性」という言葉を検索した。

<調べた内容>

①ユニバーサルデザインとは

ユニバーサルデザインとは、だれにでも簡単に便利に利用できるデザインのこと。

ユニバーサルデザインの7原則

- ・誰にでも公平に利用できること
- ・使う上で自由度が高いこと
- ・使い方が簡単ですぐわかること
- ・必要な情報がすぐに理解できること
- ・うっかりミスや危険に繋がらないデザインであること
- ・無理な姿勢を要しないかたちで築に使用できること
- ・アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること

ユニバーサルデザインにはこの7原則がある。

②福祉車両とは

【福祉車両】高齢者や障害をお持ちの方が使いやすいように様々な配慮が施された車両。

機能性

(1) 車いす移動車

- ・車いす使用者が車いすごと乗れるタイプ
- ・テレビで見るとおの人はこのタイプの車両を使用していた。

(2) 回転シート車 回転スライドシート車

- ・車いすから乗り降りタイプ
- ・シートが90度回転して乗り降りしやすいようになっている。

(3) 昇降シート車

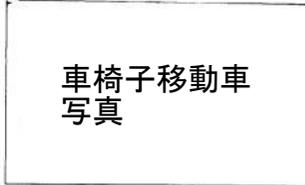
- ・シートが昇降して外側にせり出すところでは回転スライドシート車と同様だがさらに地面近くまで降りてくるのが特徴

<まとめ>

これまで学習してきた福祉車両は、参考資料(1)のようには「みんなが使える車」であることと知水た「またと関係のない車」だと思えてきた自分はこの「みんなが使える車」を改めて「必要で車だ」と認識できるようにした。現代では「高齢化社会」に向けてユニバーサルデザインはますます必要である。先代に「身近な福祉車両」などのものを考慮するべきだと思える。

<参考資料>

- ・福祉車両はみんなが使えるクルマです / くらと / ひろ
- ・福祉車両 | 介護のあそび | 介護士向け
- ・UD百科 | ユニバーサルデザインの7原則について
- ・あいつのページ



車椅子移動車写真

身近にあるユニバーサル

2月9日 1年1組 樋口 深々

1 課題とそれを取り上げた理由

最近では身近なところで「ユニバーサルデザイン」という言葉を耳にするようになった。聞いてみると、具体的にどのようなものがあるのか知りたいと思、たから。

2 調査方法

インターネットで「ユニバーサルデザイン」という言葉を検索した。

3 調べた内容

<ユニバーサルデザイン(UD)とは?>

文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異・障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計(デザイン)のこと。

ユニバーサルデザインの7原則

- 1. 誰にでも公平に使えること
- 2. 使う上での柔軟性があること
- 3. 使い方が簡単・明白であること
- 4. 必要な情報がすぐに分かること
- 5. うっかりミスや危険を許さないこと
- 6. 身体への過度な負担を必要としないこと
- 7. アクセス・利用のための十分な大きさや空間が確保されていること

<ユニバーサルデザインとバリアフリーの違い>

ユニバーサルデザイン

多くの人が使いやすいものを作る設計手法として発明された

バリアフリー

生活難者(障害者・高齢者)のために生活に障害となる物理的な障壁の削除を行うという、過去の反響に立、た考え方

<いろいろなユニバーサルデザイン>

4 まとめ

ユニバーサルデザインは7原則があることを初めて知、て驚いた。

最近まで知らなかった自分が、たいてい、この学習で、かなり理解するようになったので良かった。

5 参考資料

- ウィキペディア / マフリー百科辞典
- UD百科 | ユニバーサルデザイン / バリアフリー - 深々



